

No. 章 頁

行

誤

正

『核融合炉設計入門』正誤表

2020/12/3

1	1	1	下から6行目	メタンハイドレード	メタンハイドレート
2	1	4	下から3行目	実験的に	実験で
3	1	5	図1. 2-2	He3D	D3He 3は上付
4	1	5	下から11行目	求めたものを図1. 2-3に示す。	求める。
5	1	6	表1. 3-1	ガラス (個体) レーザ	ガラスレーザ
6	1	7	上から8行目	cuspiend	cuspi field
7	1	8	上から1行目	1つが	一つが
8	1	8	上から3行目	ラーマー	ラーマ
9	1	11	上から5行目	spatical	spatial
10	1	11	上から6行目	1例	一例
11	2	15	上から7行目	1つの	一つの
12	2	20	上から6-7行目	P_{net}, P_g, P_d	P_{net}^e, P_g^e, P_d^e
13	2	20	(2. 4-5)式	$/2/3$	$2/3$
14	2	23	上から6行目	効率を上げる	パワーを下げる
15	2	23	下から11行目	operational scenario	operation scenario
16	2	24	上から2行目	イオン	イオンや電子
17	3	33	下から4行目	エネルギー流速ベクトル	エネルギー流束ベクトル
18	3	38	(3. 5-4)式の上	1つの例	一つの例
19	3	40	(3. 5-12)	k^2	k^2/w_p
20	3	45	上から6行目	(3. 7-7)	(3. 7-7)
21	3	45	(3. 7-10)	} $1/2\pi$	} $\times 1/2\pi$
22	3	50	3)の下、4)の下	相互作用	相互作用、
23	3	53	下から14行目	T. Kato	T. Kato
24	4	55	(4. 1-6)式	$\mathbf{J} \cdot$	$\mathbf{j} \cdot$ 小文字
25	4	61	上から1行目	$B_p(\rho)$	$B_p(\rho)=0$
26	4	64	上から5行目	近似する理想	近似する時理想
27	4	67	(4. 2-48)	B_v0 ニュー $v0$ 下付	B_v0 ブイ $v0$ 下付
28	4	68	下から12行目	回転変換 ι	回転変換 $\iota/2\pi$
29	4	68	下から12行目	安全係数 $q(r)=1/\iota$	安全係数 $q(r)=2\pi/\iota$
30	4	68	(4. 2-53)	ι	$\iota/2\pi$
31	4	68	下から4行目	$d\iota/dr$	$(1/2\pi)d\iota/dr$
32	4	68	下から1行目	i	j
33	4	69	上から3行目	とすなわち	すなわち
34	4	69	(4. 3-3)	=2	=-2
35	4	70	(4. 3-9)	= $2\cdots=2\cdots=\cdots(-\cdots)$	= $-2\cdots=-2\cdots=\cdots(\cdots)$
36	4	71	上から3行目	$\mu_0\ell I_p dI_p/dr$	$\mu_0 R_0\ell dI_p/dr$
37	4	73	上から6行目	(4. 4-7)	(4. 4-8)
38	4	73	上から9行目	(4A-17)式、境界	(4A-17)式、即ち、境界
39	4	73	(4. 4-12)	B_v0 ニュー $v0$ 下付	B_v0 ブイ $v0$ 下付
40	4	80	下から1行目	ここでは・・・である。	削除
41	4	83	(4. 7-22)	$x=0$ の時 $kz=0$	削除
42	4	84	下から8行目	(4. 2-8)式より $V=(V_1xB_0)/B_0^2$ であ	$V=(V_1xB_0)/B_0^2$ の場合
43	4	87	下から4行目	(4. 2-7)	(4. 1-1)
44	4	88	下から4行目	∇P_i	$\nabla_{ }P_i$
45	4	89	下から1行目	(4. 8-3)	(4. 8-2)

46	4	93	上から1行目	Ti	Te
47	4	95	上から7行目	[30]。	[30]。
48	4	102	(4A-7)とその下の行	B_v, B_{v0} ニューv0下付	B_v, B_{v0} ブイv, v0 下付
49	4	102	(4A-13)	B_{v0}, B_{v1} ニューv0, v1下付	B_{v0}, B_{v1} ブイv0, v1 下付
50	4	103	(4A-15)	B_{v0}, B_{v1} ニューv0, v1下付	B_{v0}, B_{v1} ブイv0, v1 下付
51	4	104	(4A-29) (4A-30)	B_{v0} ニューv0 下付	B_{v0} ブイv0 下付
52	4	105	下から10行目	(4A-2)	(4.2-24)、(4.2-36)
53	4	107	(4B-21)	n	n_κ κ 下付き
54	4	107	下から4行目	n	n_κ κ 下付き
55	4	108	(4B-25)	$B_0 \cdot (\xi_{ }/B_0)$	$B_0 \cdot \nabla(\xi_{ }/B_0)$
56	4	110	上から13, 15, 20行目	[26][28][32] Nuclear	[26][28][32] Nucl.
57	4	110	下から10行目	Grando	Marrelli
58	5	126	下から1行目	Greenwald 12pt	Greenwald 10.5pt
59	5	127	上から5行目	Greenward	Greenwald
60	5	130	上から12行目	runaway current	runaway electron
61	5	130	下から4行目	電圧	電場
62	5	131	下から5行目	プラズマに対向機器	プラズマ対向機器
63	6	138	(6.1-11) (6.1-12)	B_θ	B_θ θ 下付
64	6	139	上から1, 9行目	熱流速	熱流束
65	6	139	上から13, 18行目	$\tau_{\alpha e}$	$\tau_{e\alpha}$
66	6	145	下から3行目	プラズマ電流密度	プラズマ電気抵抗率
67	6	148	下から3行目	1つ	一つ
68	6	149	上から15行目	、となる。	となる。
69	7	153	上から8行目	,	、
70	7	160	上から7行目	内、ブランケット	内、減速過程で、ブランケット
71	7	163	下から2, 5行目	トリチウム増倍層	中性子増倍層
72	7	166	表7.3-5	450-550°C	450-550°C
73	7	166	図7.3-4	「蒸気」の位置	「蒸気」の位置を一番上の線の所に移動する
74	7	170	上から4, 11行目	リチウム	ベリリウム
75	7	171	表7.5-1	上部セクタの	ブランケットを上下セグメントに分割する場合、その
76	7	171	表7.5-1	搬送用ホットセル	搬送用容器
77	7	174	図7.6-2	導電シェル	導体シェル
78	7	175	下から19行目	穏やかリチウム	穏やかなリチウム
79	7	178	図7.6-4	$\phi 110$	$\phi 11$
80	7	180	上から2行目	大学出版	大学出版会
81	7	180	上から9行目	[16] Nuclear	[16] Nucl.
82	8	185	上から5行目	真空の誘電率	は真空の誘電率
83	8	190	下から12行目	ダイバータ	ダイバータ
84	8	191	下から4行目	用いると	用いて
85	8	192	上から4行目	割合を65%を	割合65%を
86	8	193	下から11行目	DVE	VDE
87	8	197	表8.4-3	コイルの蓄積	コイルの蓄積 改行の位置
88	8	199	上から7行目	表8.5-4	表8.4-4
89	8	199	表8.5-4	表8.5-4	表8.4-4
90	8	203	上から6行目	支持構概念	支持構造概念
91	8	203	下から15行目	熱流速	熱流束
92	8	205	上から6, 9行目	ダイバータ	ダイバータ
93	8	209	図8.6-3	46	48
94	8	211	上から6行目	[9] Nuclear	[9] Nucl.

95	8	212	上から3行目	[34] Nuclear	[34] Nucl.
96	9	217	上から7行目	積層箔に	積層箔を
97	9	219	上から6行目	ステリシス	ヒステリシス
98	9	228	上から1行目	9.0	9
99	9	235	上から4行目	自重支持構造	自重支持方式
100	9	236	上から15行目	11	11 ずらす
101	9	238	上から12行目	トロイダル方向には	トロイダル方向は
102	9	244	下から10行目	右側の「-」	右側の「+」
103	9	247	図9.7-1	1858.9	1658.9
104	9	248	上から13行目	(9.8-1)	(9.8-1)式
105	9	253	下から9行目	[25]島田	[25]嶋田
106	10	256	下から2行目	電離過程断の面積	電離過程の断面積
107	10	257	上から6行目	粒子ビーム粒子	ビーム粒子
108	10	260	上から8行目	高速イオンビーム	高速イオンビーム速度
109	10	261	下から6行目	W	W ₀
110	10	262	上から15行目	衝突	相互作用
111	10	262	下から3,4行目	τ	τE E下付
112	10	263	上から3行目	τ	τE E下付
113	10	263	下から6行目	、は高速	は高速
114	10	263	下から5行目	ne, Te	Te, ne 順番入れ替え
115	10	265	下から6行目	エネルギーの	エネルギーでその
116	10	266	下から9行目	生じる。[7, 23]。	生じる[7, 23]。
117	10	267	上から2, 3, 4行目	τ	τE E下付
118	10	280	下から10行目	減衰する粒子	減衰とプラズマ粒子の関係
119	10	280	下から5行目	エネルギープラズマ	エネルギーがプラズマ
120	10	280	図10.5-7	減衰する粒子	減衰とプラズマ粒子の関係
121	10	281	図10.5-8	減衰する粒子	減衰とプラズマ粒子の関係
122	10	281	下から7行目	$ w_r \gg w_i $	K がエルミート行列であること
123	10	284	(10.6-1)	$=C2/vA2=1+\delta$ 2上付、A下付、 2上付	$=1+\delta$
124	10	285	上から4行目	$-N \times$ \times 下付	$+N \times$ \times 下付
125	10	285	上から6行目	$N \times$ \times 下付, N	$N \times$ \times 下付, $N \times$ \times 下付
126	10	285	上から8, 9行目	$N \times$ \times 下付	$N \times$ \times 下付
127	10	288	上から12行目	式にす異常波	式に示す異常波
128	10	289	(10.6-28)	$Kx \sim wpe2/wwce-$	$Kx \sim wpe2/wwce+$
129	10	291	下から4行目	a	b
130	10	293	下から8行目	wpl p1下付	wpe pe下付
131	10	294	上から1行目	wpl p1下付	wpe pe下付
132	10	296	上から6行目	E/ Δt	$\Delta E/\Delta t$
133	10	298	下から6行目	倍	場合
134	10	300	(10.7-27)	u	$u $ $ $ 下付
135	10	305	上から4行目	eE /EDr	E /EDr
136	10	310	上から16行目	歪を	歪が
137	10	313	上から9行目	1つ	一つ
138	10	319	下から5行目	(3)	(2)
139	10	319	下から5行目	10.6.2項(4)より、	削除
140	10	319	下から3行目	伝播できる。	伝播できる。10.6.2項(4)より、
141	10	322	上から10行目	1組	2組
142	10	327	下から16行目	E-plane	H-plane
143	10	337	上から1行目	分けらる	分けられる
144	10	340	上から6行目	zz、成分	zz成分
145	10	341	下から1行目	zz、成分	zz成分
146	10	344	下から1行目	38	37
147	10	352	上から5行目	からへの (u, θ)	から (u, θ) へ
148	10	356	下から1行目	$n P $ $ $ 下付	$n P $ $ $ 下付
149	10	360	下から6行目	、とする。	とする。

150	10	361	上から8行目	Γ_{θ} の中のf	$\partial f / \partial \hat{\theta}$
151	10	364	上から15行目	[20] Nucl Fusion	[20] Nucl. Fusion
152	11	369	表11. 1-1	の閉じ込める機能	の閉じ込め機能
153	11	371	表11. 3-1	κ	δ
154	11	373	表11. 3-3	コルゲート状管	コルゲート状板
155	11	375	上から11行目	支持構造はで	支持構造は
156	11	381	下から9行目	運転休止	電源喪失
157	11	382	下から2行目	はプラズマ挙動から把握	は把握
158	12	385	下から17行目	トリチウム処理系	トリチウム水処理系
159	12	395	上から4行目	liquid phase	liquid phase
160	12	396	表12. 9-2	排気物	廃棄物
161	12	398	下から1-4行目	基	台
162	12	399	図12. 11-3	燃料精製系	トカマク排気ガス処理系
163	13	405	上から15行目	[1, 6]。	[1, 6]。
164	14	415	下から5行目	実験的に	実験で
165	14	418	上から3行目	(n, 2n) (n, n')	(n, 2n)、(n, n')
166	14	418	下から1行目	$\lambda_{j\alpha} \rightarrow i$ サフィックス下付	$\lambda_{j\alpha} \rightarrow i$ サフィックス下付
167	14	419	上から10行目	50V サフィックス50上付	51V サフィックス51上付
168	14	419	下から3行目	として求めることができる。	から求めることができる (19.2節 (1) 参照)。
169	14	419	下から1行目	密度の減衰を求める	密度から求める
170	14	420	上から1-2行目	(14. 5-19)式	$\phi_n=0$ と置いた(14. 5-19)式
171	14	420	表14. 6-1	日 ゴシック	日 MS明朝
172	14	421	下から13行目、図	高線	等高線
173	14	426	上から5行目	関泰, 飯田浩正	関泰, 飯田浩正 1マス空け
174	14	426	上から9行目	JAERI-M93-175	JAERI-M 93-175
175	15	429	下から7行目	クライオスタット容積	その容積
176	15	431	表15. 5-1	ARIES -RS	ARIES-RS
177	15	438	下から3行目	H. Honda	T. Honda
178	16	443	上から19行目	内系	内径
179	16	443	上から20行目	重量流量	質量流量
180	16	445	下から4行目	Blevnis	Blevins
181	17	449	下から8行目	コイル電源の	コイルの電源
182	17	450	上から1行目	コイル電源の	コイルの電源
183	17	451	下から1行目	励磁	立ち上げ
184	17	452	上から2行目	励磁	立ち上げ
185	17	452	下から7, 9行目	消磁	消滅
186	17	453	(17.3-15)	0.766+0.772	766+772
187	17	460	上から2行目	Blevnis	Blevins
188	18	467	表18. 3-1	装置、	装置
189	18	468	表18. 3-2	Te、	Te
190	18	478	下から7行目	中性性	中性子
191	18	483	上から5行目	高エネルギーのイオンとしてプ ラズマイオンを	プラズマイオンエネルギーを 持つ中性粒子を
192	18	483	上から12行目	入射粒子に	入射粒子の
193	19	493	上から14行目	N_0 が	N が N_0 の
194	19	494	下から10行目	実験的に	実験で
195	19	497	上から14行目	Bq/cm ³	Bq/m ³
196	19	498	上から6行目	5. 8節	5. 8節参照
197	19	498	上から10行目	16. 4. 2項	16. 4. 2項参照
198	19	503	上から6行目	1g	5g
199	20	518	上から12行目	アルファ粒子の	アルファ粒子圧力の
200	20	520	上から7行目	それら	それ
201	20	524	下から11行目	励磁	立ち上げ

202	20	525	下から14行目	総資本費	初期の総資本費
203	20	526	上から9行目	1つは	一つは
204	20	526	上から16行目	1つは	一つは
205	20	528	上から8行目	ラズマ	プラズマ
206	20	530	下から12行目	式 ゴシック	式 MS明朝体
207	20	530	下から5行目	- P_{fw} -	- P_{br} - P_{sy} - P_{li} -
208	20	531	上から3行目	第一壁負荷への熱負荷	第一壁への熱負荷
209	20	532	(20. 6-34), -35, -37, -38	T	T_w wは小文字 下付
210	20	533	下から7行目	実験的には	実験では
211	20	535	下から5行目と7行目	Nation	National
212	20	536	上から16行目	608	628

